

⑥ 標準給付費及び地域支援事業費の推移

○標準給付費及び地域支援事業費の推移

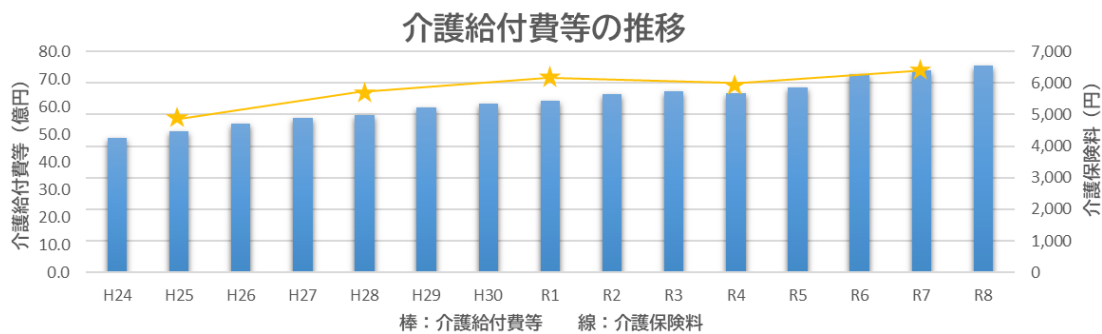
標準給付費及び地域支援事業費（介護給付費等）については、全国的に増加しており、本市においても増加の一途をたどっている。第9期計画における介護給付費等は、第5期計画初年度の1.5倍程度まで増加している。

令和4年においては、新型コロナウイルスの流行に伴う利用控え及び一部の施設系サービス等において利用できない状況（新型コロナウイルスによる新規受け入れ中止）などがあり、一時的に減少したが、高齢者の増加に伴う認定者数の増加に伴い、今後も増加していくと思われる。

○介護保険料

介護給付費等の増加に伴い、介護保険料においても増加傾向にあるが、第7期計画（平成30年～）より、介護保険財政調整基金の取り崩しにより、保険料上昇の抑制に努めている。

基金の取り崩しについては、以前より国から示されてきたものですが、第9期計画における保険料の設定においては、制度見直しの方向性として、介護保険制度の持続可能性の確保が示され、今般の物価・賃上げの動きに対応しつつ、安定的な財政運営の重要性についても示されている。



計画 年度	第5期			第6期			第7期			第8期			第9期		
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
介護給付費等 (億円)	48.8	51.1	53.8	55.9	56.8	59.7	61.0	62.2	64.5	65.7	64.9	66.8	71.8	73.0	74.7
介護保険料 (円)	4,990			5,800			6,300			6,000			6,500		
認定者数 (人)	3,482	3,638	3,674	3,674	3,700	3,625	3,668	3,718	3,750	3,776	3,809	3,766	3,843	3,900	3,967
認定率 (%)								17.8	17.7	17.8	17.4	17.5	17.7	17.8	18.1

※介護運営協議会において示した数値を利用
R5以降は『あんしんプラン第9期計画』作成時の見込み及び推計値を利用